

な～に谷っ戸ん田 4年目の4回目の記録

苗ならべ 荒しろかき、竹林整理&竹の子掘り

とき：平成22年5月1日(土) 9:30～17:30

ところ：上の作業小屋前のハウス、な～に谷っ戸ん田、竹林

天気：快晴(新緑がまぶしく とても気持ちのいい日でした。)

参加者：園主(テツさん)、石田、磯(午後から参加)、加藤、霧生、久保、佐々木利江、佐々木(コウ)(佐々木家は夕方早退しました)、坂本、柴田、高田夫妻、松本夫妻
(13名、子ども1名)

園主は、午前は十日市場の堀さらいがあり、その後、寅薬師の当番があって、作業にはほとんど参加できなかった。その分、皆で考えて分担した。が・・・

【午前：苗ならべ、荒しろかき】

苗ならべ

ハウスの中の整理を行った後、先週種まきを行い、ハウスに積み重ねていた苗箱をハウスに並べた。

苗箱は、上部にあった観丹穂(カンニホ)と紅浪漫(ベニロマン)は発芽し、もやしのように伸びていたが、下部にあったコシヒカリは、ほとんど発芽していない状態だった。

そのため、ハウス内に並べた(2枚づつ 2列、そして列の間には、人が歩けるくらいの間をあける)苗箱を、鳥よけの白い寒冷紗で覆い、さらに上部は、光をさえぎるため、きのこの上を覆っていた黒い寒冷紗を取り外し、苗箱の上に吊るした。

そして、苗にホースで水をやり、苗ならべを完了した。(観丹穂6箱、紅浪漫12箱、こしひかり80箱)

荒しろかき

な～に谷っ戸ん田に移動し、朝から水を入れた田んぼの荒しろかきをした。

機械は、午前中はテラーを2台、午後からは3台使用した。

テラーのエンジン調整、カゴ車の取り付け(コマツの協力あり)など、苦労した。

作業は、田んぼ周辺の草取り、テラーによるしろかき、スコップ、クワを使用しての田んぼの奥のほうに積み上げた泥(4/10の掘りさらいの泥)を平らにする作業に別れた。

【昼食】

な～に谷っ戸ん田で食べる。加藤先生より八目豆の差し入れがあった(美味)

石田は昼休みに、寅薬師を訪ねてみた。薬師様、周りの像など、とても立派で感動でした。

昼食後に石田会長より、会費の使い方と補助金の使用方法について話があり、それについて話し合った。(概ね、意見は一致した。後ほど、メールにて会員間の共有をはかる)

【午後・荒しろかき、竹林整理とたけのこ掘り】

荒しろかき

引き続き荒しろかきをした。午後からは、角材も登場した。(16:00でいったん終了)

竹林整理とたけのこ掘り

竹林に移動し、まずバラバラに放置されていた竹類を整理した。その後たけのこを掘り、参加者で山分けした。

【記録者 高田裕司】